



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月13日

上場会社名 株式会社ギガプライズ 上場取引所 名
 コード番号 3830 URL <http://www.gigaprize.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役 (氏名) 佐藤 寿洋
 問合せ先責任者(役職名) 管理本部長 (氏名) 木村 賢治 (TEL) 03-5459-8400
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 (—)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	1,558	21.1	234	401.0	233	421.3	133	362.9
26年3月期第3四半期	1,286	△8.7	46	19.0	44	19.5	28	60.9

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 133百万円(426.1%) 26年3月期第3四半期 25百万円(333.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	103.92	—
26年3月期第3四半期	22.64	22.54

(注) 平成27年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	1,664	842	50.6
26年3月期	1,253	732	58.4

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 842百万円 26年3月期 732百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
27年3月期	—	0.00	—		
27年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,147	16.7	265	78.1	262	78.7	155	75.3	120.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	1,423,200株	26年3月期	1,423,200株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	145,045株	26年3月期	138,114株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	1,284,312株	26年3月期3Q	1,273,345株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	4
(1) 経営成績に関する説明	4
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融緩和の効果によって円安・株高が進み、企業収益や雇用情勢が改善されるなど、緩やかな景気回復傾向が続いております。反面、消費税率引き上げや円安進行に伴う物価上昇により個人消費は低調に推移しており、世界経済においても中国や欧州の景気下振れが懸念されるなど、先行きは依然として不透明な状況となっております。

当社が主にサービスを提供する不動産業界におきましては、分譲住宅市場において消費増税の反動や建築費高騰等の影響により新築住宅着工戸数の減少が見られる一方で、賃貸住宅市場においては、平成27年1月からの相続税増税を前に引き続き堅調に推移してまいりました。

このような状況のもと、当社グループの当第3四半期連結累計期間は、マンションISP事業につきましては、不動産の差別化・高付加価値化を求めるオーナー様、管理会社様等の旺盛な利用意欲と、以前より積極的に進めてきた大手顧客開拓、拠点整備、人的投資等が確実に実を結び、分譲マンション向け並びに、小規模賃貸マンション向けのサービスが引き続き堅調に推移し、前連結会計年度末と比べ契約数を大幅に増加させることができました。

また、回線品質向上並びにサービスメニューの強化等、顧客満足度向上を図り、利用者サービスの充実を継続的に進めた結果、解約数を低水準に維持することができ、当第3四半期連結累計期間におけるサービス戸数は前連結会計年度末に比べ30,596戸増の91,887戸となりました。

ネットワーク事業においては、サーバレンタルなどのホスティングサービスや、システムの運用・監視を行うマネージサービスプロバイダー(MSP)サービスにおいて、継続的な顧客の囲い込み等により、堅調に推移しました。

また、子会社である㈱ESPにおいては、新規顧客への賃貸管理システム導入や既存顧客向けカスタマイズ対応が順調に推移すると共に、賃貸管理システムとマンションISP事業等の共同提案も確実に実を結びつつあります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高1,558百万円(前年同期比21.1%増)、営業利益234百万円(前年同期比401.0%増)、経常利益233百万円(前年同期比421.3%増)、四半期純利益133百万円(前年同期比362.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計につきましては、借入金の増加により前連結会計年度末に比べ411百万円増加となり、1,664百万円となりました。

負債合計につきましては、借入金の増加により前連結会計年度末に比べ300百万円増加となり、821百万円となりました。

純資産合計につきましては、842百万円となりました。

この結果、自己資本比率50.6%となっております。

② 資金の源泉

当第3四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物は、資産合計の63.4%を占める1,055百万円であり、当該残高に加え、未使用の借入枠を勘案すると、将来の予想可能な運転資金及び資本的支出等の資金需要に対して十分な財源が存在すると考えております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の通期業績につきましては、平成26年5月14日付当社「平成26年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」にて発表いたしました予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	660,141	1,055,142
受取手形及び売掛金	291,289	303,837
仕掛品	2,652	5,192
原材料及び貯蔵品	5,389	7,706
その他	38,450	56,777
貸倒引当金	△623	△4,194
流動資産合計	997,299	1,424,462
固定資産		
有形固定資産	142,021	147,150
無形固定資産		
のれん	18,684	11,468
その他	46,403	46,778
無形固定資産合計	65,088	58,247
投資その他の資産		
投資その他の資産	94,009	86,494
貸倒引当金	△45,041	△51,772
投資その他の資産合計	48,968	34,722
固定資産合計	256,077	240,120
資産合計	1,253,377	1,664,582
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	88,871	83,496
短期借入金	—	37,502
1年内返済予定の長期借入金	103,662	157,251
未払法人税等	20,935	81,185
その他	84,764	120,318
流動負債合計	298,234	479,753
固定負債		
長期借入金	201,640	309,600
退職給付に係る負債	11,413	14,580
資産除去債務	8,634	10,750
その他	1,330	6,902
固定負債合計	223,018	341,833
負債合計	521,253	821,586
純資産の部		
株主資本		
資本金	195,310	195,310
資本剰余金	115,505	115,505
利益剰余金	536,054	656,669
自己株式	△114,902	△124,488
株主資本合計	731,967	842,996
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	156	—
その他の包括利益累計額合計	156	—
純資産合計	732,123	842,996
負債純資産合計	1,253,377	1,664,582

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	1,286,994	1,558,021
売上原価	785,296	910,349
売上総利益	501,697	647,672
販売費及び一般管理費	454,899	413,201
営業利益	46,797	234,470
営業外収益		
受取利息	277	173
投資有価証券売却益	—	200
その他	101	663
営業外収益合計	379	1,037
営業外費用		
支払利息	2,260	1,790
その他	128	226
営業外費用合計	2,388	2,016
経常利益	44,788	233,491
特別利益		
子会社株式売却益	13,461	—
事業譲渡益	21,250	—
特別利益合計	34,711	—
特別損失		
減損損失	41,305	—
その他	1,120	—
特別損失合計	42,425	—
税金等調整前四半期純利益	37,073	233,491
法人税、住民税及び事業税	25,345	101,948
過年度法人税等	—	10,442
法人税等調整額	△13,696	△12,363
法人税等合計	11,649	100,026
少数株主損益調整前四半期純利益	25,424	133,465
少数株主損失(△)	△3,405	—
四半期純利益	28,830	133,465

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	25,424	133,465
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△86	△156
その他の包括利益合計	△86	△156
四半期包括利益	25,338	133,308
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,743	133,308
少数株主に係る四半期包括利益	△3,405	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当社グループでは、当第3四半期連結累計期間において、報告セグメントの全セグメントの売上高、営業利益の合計額に占める割合がいずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。